



拠点闘争の獲得すべきもの L共闘M・M

「永続的叛乱」とは、単なる暴動や反乱を指すのではなく、社会の根本的変革を目的とした継続的な闘争を意味する。この闘争は、労働運動、学生運動、市民運動など、あらゆる階級の闘争を通じて行われるべきである。L共闘M・Mは、この闘争の中心となるべきものである。

この闘争は、単なる経済的利害の追求にとどまらず、社会正義の伸張と人権の擁護を目的とする。特に、労働者の権利の保障と学生生活の改善は、この闘争の重要な課題である。

「永続的叛乱」の成功には、組織的統一と連帯が不可欠である。各階級の闘争が互いに支え合い、協力して進んでいくことが、社会変革の唯一の道である。

この闘争は、単なる抗議活動にとどまらず、具体的な政策提言と実践を通じて進められるべきである。労働組合の強化と学生自治会の発展は、この闘争の重要な成果である。

「永続的叛乱」の精神は、社会のあらゆる角落に波及し、変革の嵐を巻き起こさなければならない。我々は、この闘争を通じて、より公正で平和な社会の実現を目指す。

農学部闘争秋の課題

第二次闘争への飛躍的發展を

農学部の闘争は、単なる学費削減や生活改善にとどまらず、農業政策の転換と農村の再生を目的とする。この闘争は、社会正義の伸張と人権の擁護を目的とする。

学部個別闘争の枠の打開

自然発生性を超克せよ

学部個別闘争の枠を打破し、学際的連帯を築くことが、社会変革の重要な課題である。自然発生性を超克し、組織的統一と連帯を築くことが、この闘争の重要な成果である。

この闘争は、単なる抗議活動にとどまらず、具体的な政策提言と実践を通じて進められるべきである。労働組合の強化と学生自治会の発展は、この闘争の重要な成果である。

「永続的叛乱」の精神は、社会のあらゆる角落に波及し、変革の嵐を巻き起こさなければならない。我々は、この闘争を通じて、より公正で平和な社会の実現を目指す。

民主主義の神話

安保闘争とその政治的経緯

日本共産党史

日本型社会民主主義

社会観の探求

現代における平和と革命

唯物論と主体性

資本論への私の歩み

現代思潮社

トロツキー文庫

革命の理論と実践

現代思潮社

反大学戦線

大学革命の原理

叛乱論

困難な革命

現代思潮社

全国全共闘

反戦派労働運動

現代思潮社

太陽と嵐と自由を

ゲバルト・ローザ闘争の手記

現代思潮社